

<めざす子供の姿を大切に>

自主・自律

共生・協働

探究・創造

全身で感じる水・泡・泥遊び

【年少児】

水や泡、泥の感触を楽しむ子供たち。大きなたらいで作った泡を使ってシャボン玉作りに挑戦したり、アイスクリームに見立ててごっこ遊びを楽しんだりしています。9月に実るヨウシュヤマゴボウで泡に色づけする子供も見られます。「お土産にして持って帰る～」と、うれしそうに泡を何袋にも入れていました。また、砂場では、「工事します」と道を作って水を流しますが、次第に沼のようになり、そこで腹ばいになる子、仰向けになる子など、全身で水や泥の感触を楽しんでいます。保育者も子供たちと共に泥んこになり、また、びしょ濡れになりながら遊びを楽しんでいます。



気持ちいい～♪

五感で楽しむ色水づくり

【年中児】

友達や保育者、実習生と一緒に、自然物を使った色水づくりを繰り返し楽しんでいます。透明カップに注ぎ、ジュース屋さんがオープンすると、遊びはさらに盛り上がります。

また、花や実の数を増やすと、色の濃さや香りの強さが変化することに気付き始めた子供たち。「ぶどうジュースの色が変わった!」「このお花(ランタナ)をたくさん入れるとバナナの匂いがするよ」と、毎日発見がいっぱい。

これからも、子供ならではののみずみずしい感性を大切にしながら一緒に楽しみたい。



ジュース屋さんで～す!

アイデアを出し合いながら ～進化する野球～

【年長児】

2学期始業日から突如始まった野球。夏の甲子園の様子や大谷選手の活躍をテレビで見たり、夏休みに野球観戦に行ったりした子供たちは、牛乳パックをつないだバットや新聞紙を丸めたボールを作り、ボールを打つことを楽しみ始めました。初めはみんなが打ちたいため、バッターが一度に数名構えていましたが、教育実習生と一緒に楽しむ中で、次第にキャッチャーや審判が現れるようになりました。そして、チームでの対戦になると、仲間と作戦会議をしたり、応援団が大きな旗を振り、手作り太鼓の音と共に「かっとなげー!」と声援が飛び交ったりするようになってきました。また、暑い中でもちゃんと自分たちでクーリングタイムを設け、水分補給を欠かさない子供たち。本物の甲子園の再現のようです。

「ぼくたち、侍ジャパン幼稚園代表やからなー」と、友達と顔を見合わせ意気込んでいます。これからも、友達と共に遊ぶ中で、自分の思いを伝えたり相手の思いに触れて考えたりしながら、一緒に活動する楽しさや充実感を味わえるよう支えていきたいです。



ナイスバッティング

5年 幼稚園との交流

5年生は来年度小学校に入学する青組さんとペア学年になります。入学する前から交流を重ねることで、青組さんが入学した際、安心して学校生活が始まるようにしています。交流1回目として、7月に一緒にプールに入りました。初めて入る大プールに、最初は顔がこわばっていた青組さんもいましたが、「持っててあげるからね」「もう少し、降りてみる?」「無理だったら抱っこするからね」と5年生が優しく声をかける姿がとても印象的でした。おかげで、初めは入るのを怖がっていた青組さんも、自分から進んで潜ってみたり、歩いてみたりなど、安心してチャレンジする姿が見られました。互いのよさが十分発揮できた時間となりました。



大きいプールに挑戦

3年 社会科探究学習

3年生は、社会科で坂出市にある工場やお店について学習し、協同食品の工場やイオン坂出店を見学させていただきました。見学を通して、安全でおいしい商品を消費者に届けるために様々な工夫が行われていることを学びました。また、食品ロスのような社会問題にも取り組まれていることを知り、自分たちにもできることを考えていこうとする姿が見られました。



スーパーのひみつを探ろう

4年 未来学習「支え合うから人」

4年生は、「支え合うから人」をテーマに学習を進めています。1学期は、合同運動会に向けて、「特別支援学校の友達と仲良くなろう作戦」と題して、特別支援学校のことを調べたり実際に交流したりしました。交流では、特別支援学校の友達が好きなことやものを参考に、遊びやプレゼントを考え計画を立てていきました。当日、相手を思いやって優しく言葉を掛ける様子がたくさん見られました。運動会以降は、障害についてさらに調べたり、幼稚園の子や外国の人との交流を通して、人との関わり方について考えを深めています。



力を合わせてスタート